

平和憲法・9条を守る 岩手の会 ニュース No.4 1

2009.1.13

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227



「9条を守る」運動に期待する 吉田六太郎さん (「平和憲法・9条をまもる岩手の会」呼びかけ人代表、元教師)



日本が太平洋侵略戦争を始めた 1941 年から今年は 68 周年になりますが、この戦争でアジア諸国の皆さんに与えた、計り知れない罪悪は決して消えませんが、また消してはなりません。ところが、小泉純一郎元首相をはじめ侵略を美化する動きは根強く、いまだに消去されません。とんでもない歴史の欺瞞(ぎまん)です。

しかし、「戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認」の 9 条に結集した「9条の会」は、今や国内外に 7294 集団になり、平和運動の最前線で活躍しています。アフリカのカナリア諸島には「日本国憲法 9 条の碑」が地元市長の英断で建立されているといいますし、今や「9条」は世界の平和運動の中核になり、強力な牽引力となっています。

では、「9条」の平和運動の源流は、いつ始まったのでしょうか。驚くことに今から 900 年も前、1126 (大治元) 年に始動しました。平泉の藤原三代百年間の平和実現は、まさに「9条」の平和そのものでした。

ところで、この藤原氏の平和運動に感動し、その継承に生命を燃やした人間がいます。宮沢賢治です。賢治は藤原氏が平和を祈念して金鶏山に金の鶏を祭った故事にならい、岩手に「天上よりもっといいところをこさえなきゃ」といい、「経埋ムベキ山、32山」を遺言しています。まさに「9条」の実現です。

余談になりますが、私は賢治没後 20 年、賢治の弟清六さんに誘われて、2 人で「経を埋ムベキ山」に「妙法蓮華経」を埋納して歩きました。ありがたかったです。

「9条」は飾りものではありません。生きています。人々を結びつけ勇気づけ、生きる行動を湧発させてくれます。そしてなによりも生きる意味を教えてください。人間は「9条を守る」のでなく、「9条に守られている」のです。

人の優しさ、素晴らしさに触れる平和活動

～盛岡大学の活動紹介(盛岡大学生協学生委員会)～



盛岡大学では多くの平和活動に取り組んでいます。メンバーはとても元気で明るく、平和についての熱い想いや願いを持った人たちばかりです。毎月、いろいろな平和活動に熱意を持って取り組み、その活動を通して、人の優しさや素晴らしさに触れることも多くあります。



しかし、平和に向けた活動をするには、過去を振りかえらなければならないこともあります。目を背けたくないような悲惨な過去や現実を初めて知り、それを受け入れなければならないつらい気持ちもありますが、まずは「知らなければならない」と思い学習会も行っています。

平和の形は一人一人違うので難しい問題です。知ろうとすればするほど、平和とは何なのかわからなくなってしまうこともあります。その反面、多くの人の言葉に心を動かされ、涙することもあります。だからこそ、私たちは世界中の人たちが心の底から笑って平和に暮らせるように...少しでも多くの人に平和について考えるきっかけを与えたい...そんなことを思いながら活動しています。(写真 - 昨年の活動から 上：6月 Peace-Walk 平和や核兵器廃絶を呼び掛け盛岡市内を行進、下：10月学園祭での「平和の部屋」)



「かたつむり」の歩みで過半数署名を

《衣川地区九条の会》



2007年は憲法施行60年の節目にあたることもあって、旧衣川村にも「九条の会」を結成しようと新年早々から働きかけ、前任職、元小学校長、元校長夫人など9名の方々に「呼びかけ人」を引き受けていただきました。

早速「呼びかけ人会議」をもち、「入会のすすめ」を作成、返信用の私製ハガキを同封して130通の文書を発送、結成総会をもったのが4月22日でした。総会では会長（常盤知暁・前任職）の知人で、「仙台九条の会・世話人」の住職・佐藤和丸さんに記念講演をお願いし、独自の署名用紙を作成して署名活動、

会のニュース『いのちの声』発行、等の活動方針を決めました。

昨年末現在の会員数はまだ62名です。集まった署名はすでに有権者の過半数を超える2,056筆になっていますが、その中には、昔、衣川診療所に勤められたという東京在住の老婦人からの約500筆、元女教師の方から約250筆など、衣川地区以外の方々の署名も多数含まれています。いま11名の世話人を中心に、「ほんとうの過半数」を目指して取り組んでいるところです。これまでに発行した『いのちの声』は19号（新年号）になり、毎回1400部を新聞折込みなどで配布しています。これまでの企画としては、アコ奏者の岡田京子さんを招いての「岡田さんのアコで啄木・賢治と九条を歌う会」くらいなものです。12月中旬の寒い時期でしたが51名が集まり、盛会でした。（このDVDをお貸しできます）

昨年末には、花巻で開催された品川正治さんの「憲法9条と日本経済のすすむ道」という講演記録集を作成し、学習資料として会員に配布しました。今年は映像を見ながらの学習会をやろうと話合っています。会費は徴収していませんが、これまでに37万円を超えるカンパが寄せられました。

「かたつむり」のような歩みですが、休まずに進みたいと思っています。

（事務局・菅原恭正さん）



☆たのしかったね！「紙芝居とケーキづくりの会」



《平和憲法・9条を守る都南の会》



平和憲法・9条を守る都南の会では「紙芝居とケーキづくりの会」を子ども10人、大人17人の参加でにぎやかに開催しました（12月6日土曜日、キャラホール）。はじめに、親子・孫といっしょに紙芝居「らいおんの涙」と「おこり地蔵」をいっしょに観ました。田口頌子さんと南山今さんの熱演に、子どもたちも熱心に観入っていました。



そして、デコレーションケーキを鈴木通子さんの指導で、生クリームのホイップとイチゴなどフルーツをトッピングし、わいわい楽しくつくりました。

みんなが笑顔で、心温まるひとときをすごし、自分たちでつくったケーキをおみやげに持って帰りました。（事務局・根田弘昭さん）

つくりたてのおいしいケーキを
子どもたち、おかあさん、おとうさん、
じじ、ばばみんなで食べました。

1月～2月（または3月）は、「9日」街頭宣伝はお休みします。